平成 29 年度第 1 回 犬山祭保存会理事会議事録

日時	平成 29 年 12 月 23 日（土）19:30～21:00
場所	犬山市福祉会館　4F 会議室
出席者 (敬称略)	【常任理事】会長（石田）、副会長（多和田・大澤）、会計（下山）、財務委員会委員長（澤野）、財務委員会副委員長（田中）、伝統文化委員長（小林）、伝統文化副委員長（市橋・長井）、てこ委員長（長谷川）、てこ副委員長（浅野・吉田）、企画広報副委員長（林）、企画広報委員（吉田）、専務理事（溝口） 【理事】枝町（代理：梅田）、魚屋町（小川）、中本町（尾関）、熊野町（浅野）、新町（白木）、本町（兼松）、練屋町（前田）、名栗町（田中）、寺内町（岩井）、余坂町（小島）、外町（多和田）、坂下大本町（長瀬）、内田（木納） 【オブザーバー】〔犬山市〕観光交流課課長補佐、歴史まちづくり課課長補佐、〔中部大学〕学生（2 名）
議事	Ⅰ．報告事項 なし Ⅱ．議題 ①一般社団法人としての組織確認　②協賛金について　③祭りの運行計画　④からくり展示館新築について　⑤修理計画について　⑥その他
配布資料	1．「平成 29 年度第 2 回常任理事会・第 1 回理事会」資料 2．平成 29 年度第 1 回常任理事会議事録 3．協賛金関連配布物（封筒入） 4．文化史料館南館基本設計図面（計 5 枚）

議事内容	
Ⅰ．報告事項　－	
報告／検討内容	－
決定事項	－
Ⅱ．議題　①一般社団法人としての組織確認（資料：「平成 29 年度第 2 回常任理事会・第 1 回理事会」資料 p.1～2）	
報告／検討内容	○組織の確認（資料 p.1） 以下の事項を常任理事会で決定した： ・　空席であった会長補佐職を多和田副会長が兼任する。 ・　副会長 2 名の担当委員会を明確にする（多和田副会長が財務委員会・祭礼準備委員会・伝統文化委員会の担当、大澤副会長がてこ委員会・企画広報委員会・からくり文化振興部の担当）。 ○犬山祭実施に向けた組織体制の確認（資料 p.2） ・　これまでと変更なし
決定事項	－
Ⅱ．議題　②協賛金について（資料：「平成 29 年度第 2 回常任理事会・第 1 回理事会」資料 p.3～13）	
報告／検討内容	○趣意書

	・ 協賛団体として犬山商工会議所・(一社) 犬山市観光協会・(一社) 犬山青年会議所を記載した。 ○協賛内容 ・ C コースは新たな内容のコースであり、協賛者名入の提灯を作成のうえ祭礼時に城前広場（未確定）に設置し、祭礼後は協賛者へ引き渡すというもの。生産が追いつかないため今回は 30 名限定とする。数が少ないので C コースの申込があった際はすぐに専務理事に連絡のうえ残数の有無を確認すること。依頼書には「丸提灯」と記載されているが高張提灯に変更。 ○協賛金受取名簿 ・ 資料 p.7～13 の表は前回の協賛者名簿であり、表中のコース名が今回のものと異なるので要注意。 ・ 前回の実績にとらわれず、できるだけ高額のコースの協賛を依頼すること。 ・ 商工会経由で依頼書を発送するものでも、返答がない場合は保存会から確認（再依頼）をする必要がある。
決定事項	・ 前回の協賛金受取名簿にて保存会受け持ち分の担当者を決定
Ⅱ．議題　③祭りの運行計画（資料：「平成 29 年度第 2 回常任理事会・第 1 回理事会」資料 p.14～16）	
報告／検討内容	○城前の車山配列案 ・ 資料 p.14 は試楽・本楽の朝（1～2 時間）の配置案、p.15 は試楽の夜車山（16:00～19:00 頃）の配置案、p.16 は城前の広場・道路等の面積図（数字は平米数）である。 ・ p.14 案に大きな問題点はないと思われる。 ・ p.15 案の城前広場には桟敷席が描かれている。一案として「5 万円以上の協賛者をペアで桟敷席に招待する」など。試楽当日の朝から椅子を並べる想定。試楽の夜に城前で夜車山総揃えを行う案であり、安全の確保が課題。てこ委員会としては H30 の祭礼用の案とするには時期尚早と判断しており、H30 は従来どおり神社前と駅前に分ける案を検討中。 ・ 新しい取り組みを前向きに検討したい。従来のかたちを変更する際はタイミングも重要である。 ・ 将来的に駅前での車山の整列を止める場合などは、駅前商店街への丁寧な説明が必要である。 ・ 運行計画は、事故を起こさないための対策、雑踏警備、緊急車輌の通行想定など、諸々を考慮のうえ作成する必要がある。 ・ 露店を大本町通りなどへ集める案の検討をしたい（要：露天商との警察を交えた協議）。
決定事項	・ 協議を継続する
Ⅱ．議題　④からくり展示館新築について（文化史料館南館基本設計図面）	
報告／検討内容	○からくり展示館の移設整備検討 ・ 基本設計のワーキンググループには、専務理事に毎回、会長と多和田副会長にも各 1 回ご出席いただき、市と保存会とで内容を検討中である。 ○図面の説明

	・ 東面立面図（着色）：木造平屋建・桟瓦葺を基本とし、景観と敷地の歴史を尊重した建築（武家屋敷風の建物）とする方針である。 ・ 現況敷地図＋立面図：来館者の動線は「本館からのみ出入り可能」とする方針（ランニングコスト抑制のため）。東面立面図の玄関風の箇所は出入口ではなく外向きの展示ケースであり、新作からくりを展示予定。 ・ 平面図：内装はごくシンプルなものとする方針（からくり人形を引き立たせるスペースとし、各種企画展示にも対応可能とするため）。東南角を中心とする「からくり展示」スペースに現在 6 町から借用展示している古人形を展示予定。ガラスで囲わず、直に人形を見せることにより迫力ある展示を目指す（固定の手すりで結界を設ける）。 ○今後の予定 ・ 現案は今後修正の可能性がある（大きな変更があればまた報告する）。 ・ 1/12～2/1 にパブリックコメントを実施予定。意見を寄せてほしい。 ○専務理事による補足 ・ 新からくり展示館を保存会の拠点にしたい（指定管理者となることを想定し、職員を常駐できるように財務基盤を強化する必要有り）。 ・ 建物よりも運営が重要であり、からくり展示館に人を呼ぶ鍵は玉屋氏である。 ○会長コメント ・ スケールが極小であり当初は計画に反対であったが、現からくり展示館の土地が土砂災害の警戒区域に指定されていることや計画地の歴史的意義等を慮り、妥協が必要と判断した。 ・ からくり展示館がからくりのキー・ステーションとなり、13 町内がサテライトとなるイメージで、来訪者の回遊性を高めるための施設と位置づけるべき。 ○意見等 ・ 道路境界までのスペースも有効活用するべきである。 ・ 史料館本館のシャッターはもう開閉しなくなるのか。 →シャッターは撤去または作動不可の状態になる計画である。 ・ 水引幕などの展示をするスペースはあるか。 →展示は可能。本館展示室における展示も引き続き可能。
決定事項	―
Ⅱ．議題　⑤修理計画について（資料：「平成 29 年度第 2 回常任理事会・第 1 回理事会」資料 p.17）	
報告／検討内容	○内田「子供競子」の道具・装束の状況 ・ 道具・装束ともに使用に耐えない状態になりつつある。 ・ 文化財としての保存修理／新調には（たたき台として得た見積では）相当な額の経費が必要となる（総事業費は 200 万円を超える見込みであり、補助事業化が可能）。 ○練り物の修理の事業化と優先順位について ・ 現在の内田の状況を考慮して、H30（状況により H31）に実施予定の枝町の修理の後に内田の修理を差し挟むことは可能か（練屋町以降の順番が 1 年ずつ後年へずれることになる）。

	→これまで練り物の修理には目が向けられてこなかった。犬山祭の重要な要素であり仲間である。状況に応じた配慮が必要である。
決定事項	・ 伝統文化委員会に練り物３町内を加え、委員会で協議することに決定

Ⅱ．議題　⑥その他	
報告／検討内容	○蝋燭の販売（企画広報委員会提案） ・ 夜車山提灯用の蝋燭を観光客に販売する（＝購入した蝋燭を寄附してもらう）企画を検討中。蝋燭の経費節減が目的。まずは各町 100 本の販売見込みでの試行を考えたい。 ※蝋燭に各町の水引幕のカラープリントを巻いた販売サンプルを提示
決定事項	・ 検討を継続する

懸案事項／その他補足
・ 中部大学学生（2 名）より：アンケート回答・聞き取り対応等へのお礼
・ 新年会を 1/21㈰18:30 から針綱神社参集殿にて開催予定。出欠を 1/10㈬迄に事務局へ連絡のこと。

次回日時	平成 30 年 1 月 21 日（日）17:00～18:15
次回場所	犬山市福祉会館

記録日	H29/12/25
記録者	市野

署　名　石田芳弘

多和田兼道